

授業 科目名	【G】 教養演習Ⅱ(スポーツ科学)	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
	【H】 教養演習Ⅱ(スポーツ科学)			【H】1		【H】2		
	【I】 教養ゼミⅡ(スポーツ科学)	選 択 必 修		【I】1		【I】2		
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	総合的なスポーツ実習			担当者	後藤・酒本・榎本・青柳			
授業概要	【概要】	<p>本演習では、①救急救命講習 ②スポーツ科学実習 ③木更津市スポーツ事業学習 の3つの柱の元、演習を行う。</p> <p>①救急救命講習 スポーツ活動においては、怪我や疾病などのリスクが生じることを理解しておく必要がある。本演習では、怪我や疾病などが生じた際における救急救命の正しい知識と方法を学び、万一の際、生命を守ることができる技能を身につけることを目的とする。</p> <p>②スポーツ科学実習 担当者の専門に関する実習を通し、ヒトの心身を総合的にとらえる『総合科学』としてスポーツ科学を学ぶ。</p> <p>③木更津市スポーツ事業学習 外部講師による講義や、行政や民間が管理するスポーツ施設の見学を通して、地域のスポーツ事業の現状を学ぶ。また施設を実際に利用し、地域社会においてスポーツが果たす役割について考える。</p>						
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なスポーツの価値および意義、恩恵について理解する。 ・実習における学びをスポーツ活動や日常生活に応用する。 ・地域社会においてスポーツが果たす役割について理解する。 						
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は芝のグラウンドでのサッカーや、陸上トラックを用いた運動を行った。そのため、健康状態を整えて参加することが望ましい。 ・外部講師をお招きして実施する授業であり、また一部の内容は市民の税金によって実施される。その趣旨を踏まえ、安易なキャンセルや無断欠席は認められない。 							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	学修内容の実践
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連	特になし。							
教科書	特になし。							
参考書	特になし。							
評価方法	レポート(40%)、受講・授業態度(60%)に基づき総合的に評価する。							
フィードバック方法	講習中に実践を繰り返し、技能の習得状況を確認しながら実習を進める。							
評価基準	上記授業内容について、概ね習得できた者については「C」または「B」とする。授業内容の習得はもちろん、意欲的かつ責任ある態度で参加した者については「A」または「S」とする。授業内容についての理解や参加態度が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、不参加や評価不能の場合には「F」とする。なお、事前ガイダンスを含む全日程の受講が単位取得の要件となる。							

授業 科目名	【G】	教養演習Ⅱ（スポーツ科学）	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	教養演習Ⅱ（スポーツ科学）	選 択 必 修		【H】1		【H】2
	【I】	教養ゼミⅡ（スポーツ科学）			【I】1		【I】2
授業内容	<p>1. 普通救命講習 ・応急手当の実践(心肺蘇生法、AED、止血法、異物除去法)、実技試験</p> <p>2. スポーツ科学実習 ・担当者の専門に関する授業を実施。内容は講義、またはスポーツ実技 ・本科目における他の実習等の実施要領、参加人数等が確定次第内容を決定</p> <p>3. 木更津市スポーツ事業学習 ・市やスポーツクラブにおけるスポーツ事業の概要、並びにその意義についての学習 ・各施設を利用した運動の実践</p> <p>4. レポート課題の提出</p>						
予習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関連する内容の事前調査 ・健康管理、身体を動かすことへの準備 <p>※予習時間は各受講内容について90分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講習内容の振り返り ・レポート作成 <p>※復習時間は各受講内容について90分程度を目安としてください。</p>						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・関係組織との調整が必要なため、具体的な内容については決定次第告知する。 ・受講学生が別に定める定員に満たない場合は開講しない場合もある。また関係組織の求めに応じ、受講学生数を制限する場合がある。 ・通常授業期間に実施する「教養演習Ⅱ」と同時履修可。 <p>※G・H・I共：【Iは選択必修(A)・IIは選択必修(B)】</p>						